

普及現地情報

令和の先駆け、玉名みかんブランド向上のために！（玉名）

6月3日に中央みかん選果場でJAたまな柑橘部会の全体集会在開催され、関係者約200人が集まり、令和元年産の生育状況と品質向上対策について話し合いが行われました。

今年産は極早生温州を中心に着果量がやや多く、さらに、収穫期には昨年同様に腐敗果が発生しやすい気象になることも考えられます。そこで、中玉果生産と連年安定生産のための早期摘果と腐敗果を出さないためにカルシウム剤を活用した果皮強化対策への意識統一を図りました。

また、玉名みかんのブランド向上のための品質向上対策としてシートマルチの設置を推奨しています。しかし、シートマルチの設置作業は重労働のため、高齢の生産者は設置したくてもできない現状もあります。そこで、6月18日にJAたまな柑橘部会、農業普及・振興課などの関係者で結成した「マルチ被覆応援隊」の活動として2.5haの代行設置を行いました。

今後も玉名みかんのブランド力の向上のために高品質連年安定生産にむけて、気候と果実の生育状況にあわせた適切な管理と指導を行っていきます。



写真1 全体集会の様子（6月3日）



写真2 「マルチ被覆応援隊」活動の様子
（6月18日）

種類：普及活動の事例

関連する普及課題名：

HP掲載可否：可

連絡先：県北広域本部玉名地域振興局

農業普及・振興課 果樹・花き産地づくり班

佐々木 雲海